

協会から市民の皆様へ

雪対策事業は、冬の市民生活を守るためになくてはならないものです。しかし、雪対策を取り巻く社会環境は大きく変化しており、様々な課題を抱えています。それを克服し、乗り越えていくためには、市民の皆さまのご理解とご協力を頂かなくてはなりません。

除雪で困っていること

路上駐車はやめましょう

玄関前の雪処理はご家庭でお願いします

◆除雪作業の効率が落ち作業が遅れます

- 車を車庫や敷地内に入れず路上に駐車されると、車を傷つけないように避けて除雪を行わなければならない、走行スピードが落ち作業の遅れにつながります。また、蛇行することにより雪山が左右不均等の原因にもなります。
- 駐車場や屋根から道路へ雪出しをされると、路面がザクザクやデコボコになることや、除雪により広げた道路幅が狭くなります。

◆かき分けた雪の置き場が減っています

- 新雪除雪は、雪を左右にかき分けるため、玄関や車庫前に寄せられた雪の処理は、各ご家庭のご協力をお願いします。
- かき分けた雪を置くような空き地も減っており、ロードヒーティングや民間排雪により雪処理した場所にも雪を置いていきます。

排雪で困っていること

道路への雪出しはやめましょう

◆排雪作業の効果がすぐになくなります

- 排雪した場所に雪出しをされると、せっかく広がった道幅が狭くなります。
- 交差点排雪を行った箇所に雪出しをされると、せっかく見通しが良くなっても、すぐに見通しが悪くなります。

◆雪堆積場が遠くなっており作業効率が落ちています

- 雪堆積場には、札幌市（行政）が確保しているものと、業者（民間）が確保しているものがあります。どちらも郊外にあります。排雪ダンプトラックが1月から3月上旬まで頻繁に走ることもあり迷惑施設として扱われ、また、住宅地も郊外に広がっていることもあり、確保が難しい状況です。

札幌市除雪事業協会だより

発行/札幌市除雪事業協会 〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目2番地 北海道経済センター5階（札幌中小建設業協会内）TEL251-3166 FAX251-7740



「札幌市冬みちプラン 2018 後期実行プログラム」の策定に向けて

札幌市

市長 秋元 克広

札幌市除雪事業協会の会員の皆様におかれましては、日頃より札幌市の雪対策事業に多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、多様化する市民ニーズや社会情勢の変化に対応した除排雪体制を構築し、厳しい気象条件のもと、大変過酷な業務を担っていただいておりますことに、心より感謝を申し上げます。

昨年度は、シーズンを通しての累計降雪量は、過去10年平均より53cm少ない389cmとなりました。1月2日から3日にかけて北区あいの里などの一部地域で28cmもの降雪があり、積雪深が50cmを超えました。そのため、北区と東区の一部の地域で、大雪対策のフェーズ1である雪出し排雪を実施しました。皆様のご協力により、その後の降雪においても通行に十分な道路幅を確保することができ、市民生活への影響を最小限にとどめることができました。

さて、札幌市では、今後5年間の雪対策の計画となる「札幌市冬みちプラン2018 後期実行プログラム」を策定することとしております。札幌市を取り巻く環境について、生産年齢人口減少の加速も見込まれていることから、雪対策の主要な担い手である建設業においても従事者の確保が喫緊の課題であります。そのため、ICTを活用した作業の効率化や省力化につながる取組をすすめ、労働環境改善に努め、持続可能な雪対策を目指してまいります。今後とも、刻々と変化する社会情勢に対応しながら、安心安全な札幌市における冬の道路環境を維持するため、市民・事業者・札幌市が一体となり、連携を図り様々な取組を進めてまいりたいと考えておりますので、より一層のご協力をお願いいたします。

最後になりますが、雪対策事業に対する皆様のご尽力に深く敬意を表するとともに、これからの札幌市除雪事業協会の益々のご発展と皆様のご健勝、ご活躍を心からご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。



気象状況に合わせて 臨機にかつ柔軟な 除排雪作業を

札幌市除雪事業協会

会長 宮浦 征宏

今年もまもなく冬を迎え、本格的な除排雪作業が行われる季節となりました。札幌市除雪事業協会では、除雪シーズンを迎えるにあたり、今冬も除雪事業における作業を安全にやり遂げる決意を表明いたします。また、除排雪作業について、関係各位並びに市民の皆様にご協力をお願いし、皆様とともに安全・安心な冬の道路環境を確保していく決意であります。

さて、昨シーズンを振り返りますと、累積降雪量は4mを下回りシーズン後半の降雪量も少なかったことから早い雪解けとなりました。一昨年度は札幌市全域が短期間に集中したドカ雪に見舞われ、協会員の昼夜を問わずの懸命な除排雪作業にもかかわらず、除排雪作業が追いつかず、市民の皆様にご不便をおかけしましたが、この経験を踏まえ関係各位のご指導の下、早め早めの除排雪作業を行うことができ、また市民の皆様のご協力もいただいたこともあり市民生活へおおきな影響を及ぼすことなく、シーズンを終えることが出来ました。

近年は温暖化の影響から少雪傾向になってきていると感じておりましたが、一転して大雪に見舞われるといった気象状況であることから除雪機械やダンプトラックの確保、人手の確保に苦慮しております。協会としてはどのような気象状況であっても臨機にかつ柔軟に対応できるような除雪体制を確保できるよう会員企業間の連携を図り、札幌市のご指導の下、冬の市民生活を守るために安全で迅速な除排雪作業を行ってまいります。これから本格的な除雪シーズンに入りますが、市民・行政・企業の三者の連携をより一層強め、それぞれが担う雪対策の役割を再度確認してまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

結びとなりますが、無事故・ゼロ災害を目指し、今冬の除排雪作業の安全並びに関係各位のご健勝を祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

2023年 協会のできごと

■除雪機械実技研修会(2023年1月30日)

除雪機械実技研修会はこれまでモエレ沼公園駐車場において10区合同で実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止しておりました。令和4年度は無事実施することが出来ました。研修を充実させるため、4地区に分散して実施する予定でしたが、研修予定日の悪天候や連日の除排雪作業を考慮した結果、1地区だけの実施となりました。南区土木センター構内を研修場所として利用させていただき、除雪グレーダ、ショベル、小型ロータリを使用し、20歳代から30歳代を中心に若手オペレーター15名がベテランオペレーターを講師として実技研修を行いました。



■道路維持主任者意見交換会(2023年4月14日)

札幌市民交流プラザの会議室で開催しました。役員8名、道路維持技術主任者19名が出席し意見交換を行いました。長年の懸案でありました休日及び夜間の動物の死骸処理の対応については、専門業者に行わせる体制を札幌市で整えていただき、出席者の多くから感謝の言葉がありました。要望・意見では、道路の経年劣化により舗装材の剥離・劣化が多くなってきており、穴埋めやパッチングでの路面補修での対応が困難になっており、根本的な道路・路面改良を望む意見が多くありました。この会議で出された意見・要望などを参考に、道路委員会で札幌市への要望事項が取りまとめられました。



■除雪センター長意見交換会(2023年5月17日)

札幌市民交流プラザの会議室で開催しました。役員8名、除雪センター長18名が出席し、事前に提出していただいた「改善要望事項・意見等」をもとに意見交換を行いました。除雪センターの体制や交通誘導員の実態に応じた積算などについて、意見や要望がだされました。この会議で出た意見を参考に札幌市への要望等が取りまとめられました。



■代表者懇談会(2023年6月20日)

札幌市民交流プラザ3階クリエイティブスタジオで代表者懇談会を開催しました。

札幌市から、雪対策室長・計画担当部長・課長・係長、道路維持課長・係長、道路管理課長・係長の12名の方に出席していただきました。

はじめに主催者として宮浦会長があいさつに立ち「昨冬は発注者である札幌市の除排雪作業に対する積極的な取組もあり、協会会員のご尽力のおかげで市民、マスコミからは好意的な評価を頂きました。道路の除排雪については市民の関心も高く要望も多いことからご苦労をおかけしていると思いますが、今冬もよろしくお願いします。」と述べ、また「長年の懸案事項であった動物の死骸処理に関する要望が受け入れられ感謝します。」と感謝の意を述べました。次に札幌市の出席者を紹介し、代表で八木雪対策室長があいさつされ「昨シーズンは、令和3年度の大雪を踏まえ先



手、先手の対応により市民・報道・議会から一定の評価を頂き、皆様のご理解とご協力のもと迅速な対応によるものであり、厚くお礼申し上げます。高齢化の進行や公共事の縮減など、社会経済情勢もめまぐるしく変わってきており、急激に人手不足なども進むことが想定されます。そういった厳しい状況下であっても、冬の市民生活を守っていくためにこれまで以上に知恵を絞って雪対策事業を進めていく必要があります。このため今後も持続可能な雪対策に向け、皆様のご理解とご協力をお願いします。」と挨拶されました。

そのあと三鍋副会長の進行により除雪業務要望8項目、道路維持管理業務要望3項目を花釜会長が読み上げ、それぞれについて札幌市の担当所管課長より回答をいただきました。

■定期総会(2023年7月21日)

ホテルモントレーエーデルホフ札幌で定期総会を開催しました。

会員企業207社のうち出席者116名、委任状65社でした。宮浦会長のあいさつのあと、林副会長の進行により三鍋副会長が議長に選出され議事に入りました。令和4年度事業報告、収支決算及び監査結果などが報告され、そのあと令和5年度事業計画案、収支予算案などが上程され審議の結果すべて承認されました。今年度は任期満了に伴う役員改選年度にあたり、理事職25社のうち22社が再任、3社が新任、監査職2社が新任されました。そのあと令和5・6年度の会長に宮浦興業(株)宮浦征宏氏が推薦され会員多数の「異議なし」の声と拍手により再任されました。続いて副会長に(株)佐野重機の三鍋哲雄氏、丸栄山下建設(株)の花釜道典氏、光建工業(株)の千葉建次氏が選任され定期総会を閉会しました。そのあと「意見交換・懇親会」が開催され、札幌市から天野副市長をはじめ荻田建設局長、関係部長が出席し、当協会会員110名余が出席し盛会となりました。また平成15年から理事職、副会長を務めていた道路工業(株)林義雄氏が理事職を退くことになり、感謝状と記念品が贈呈されました。